

廿餘年の経験から

朝海幼稚園長 千葉秀子

私が幼稚園事業に従事して以來今年迄實に二十四年立ちまして御座いますが、毎日心の清らかな子供達の相手をして居ります爲か、いつも若かやいだ気持ちで居ります。けれども今迄経て來た年月を懷古して見ますと、嬉しい事やつらかった事が、織物のたて絲、よこ絲となつて、人に語つてもわからない、種々の模様を織り出して居ります。最初に私が參りました幼稚園は、横須賀の豊島小學校附屬幼稚園でございました。それからしばらくの間上京いたしましてから、また横須賀に参り、横須賀小學校附屬幼稚園の方へ勤めることになりましたので、最初に居りました豊島小學校附屬幼稚園から、どうして私の方來てくれなかつたのかと、手ひどく抗議を申込みましたことをよく覚えて居ります。その後上京して、只今の主人に嫁し、日本橋坂本小學校附屬幼稚園に三年ほど勤務いたしまして、それから朝海小學校の附屬幼稚園なる朝海幼稚園にまゐりましたのが、明

治三十六年で、現在まで十九年この朝海幼稚園に居りますわけで御座ります。

不幸にも明治四十二年に火事が起りまして、類焼してしまひました。其の火事は明け方に起りましたので、宿直の先生が一人居たさうで、やつとの事で御真影を御出し申したきりで、道具等も悉く焼いてしまひました。勿論私共は一向火事のあつた事も知らず、其朝はいつものやうに輝しい心持ちで、子供に逢はうとして、幼稚園にまゐりまして、灰にきした幼稚園を見出したのですから、其時の失望と驚きとは言葉にも表す事が出来ませんでした。これは私共ばかりでなく、其の朝電報で初めて知りて、飛んで來られた當時の朝海小學校長 笹野豊美氏も、非常に心痛されたのでありました。それで私共は臨時校舎を、明石小學校と東洋印刷所との一部分を借りて、其處でしばらく幼稚園を續けて居りました。東洋印刷所はもと／＼が印刷所ですから、教室としては實に不適

當で牀は油で眞黒に塗られてあります。するく子供達が歩くとすべりさうです。其の上子供達の著物の裾がこゝに一日遊んでゐる。まるで裾模様を染めた様に五六寸の高さまで眞黒になるのでした。私共も子供達を教へ導くといふよりも、この牀にはすつかり困まらされてしまつて、朝から晝中まで裾をおはしよりして苛性曹達でのお掃除をしましたから、その忙しさといつたら申上げやうもありませんでした、こんな慘めな所で幼稚園を開いて居りましたので、父兄の方は大切なお子様方をとても御よこしにはならぬだらう、と心配いたしましたが、思ひがけぬ火事や私共の熱心さに厚く御同情下さいまして、其年も園児の申込みは前にも増して澤山ありました。其の中に京橋小學校が建築されましたので、其處の附屬幼稚園として、京橋小學校に同居させて頂きましたが、二十五坪位の教室が二つしかなく、而も園児は百五人の大多數でございましたから、其の混雜の様一通りでなく、一方が授業してゐる時には一方は運動場で遊ばせ、一方が入口から這入る。と一方は大急ぎで出口から出る、といふ大騒ぎでしたけれどもこのやうに設備が不完全であればある

ほど、精神はます／＼確乎となつて來て、子供達を愛する心、子供達をよく導かうとする心は、日を逐つて増してまゐりました。とにかく私共は困難をして居るものゝ、精神は常に愉快でありました。

朝海幼稚園が京橋小學校の校舎をゆづられて獨立しましたのが、明治四十四年三月であります。其時にも園児は二百五十名ほどありました。この獨立以來、私共は自由を得ると共に、努力を一層まさなければならぬ事を知りました。只今の校舎は大正三年に改築されたもので、幼稚園としては先づ理想的なものと言つてもよいしと存じて居ります。只今までの卒業生は千六百人程になりまして、社會の有力な位置に立つてゐる男子方や、大學、高等學校、高等商業、高等工業等の専門學校に通學してゐられる方や、婦人の方では既に結婚されて可愛い、お子持ちとなられた方もあります。一昨年初めて同窓會を開きました。この以前にも同窓會を催したいと云ふ希望はあつたのでございましたが、前に述べましたやうに色々と幼稚園の校舎が變りました爲め其他の事情で出来ませんでした。私共女が幹事になつて致しますことですし、初めての催しですから、百人

も集まつたら、大手柄だと思つて居りました。所がどうでせう、七百五十名集つて参りました。然も之は火事前の卒業生の名簿は焼失されてゐましたから、其の以後の卒業生に同窓會の通知を送りましたので、それですからもし最初からの卒業生に通知を出しましたらどんなに大勢集りました事でせう。其時保護者の方が六人幹事になつてゐて下さりましたが、その方々が各人五十圓づゝ總計で三百圓を寄附して下さいましたが、これがこの幼稚園の最初の寄附金として、私共はこれ迄に寄附金を頂きませんでございました。第二回は昨年催し、六百人集りました、一回、三回となると、何處の學校の同窓會でも集る人數が減するものでございますが、二回目で六百人といふのは實に有望ではありませんか。同窓會はいつも昔の幼稚園時代を思ひ出させる子供にかへらせる爲に、むづかしい事は一切さけまして、娛樂をする人といふのは實に有望ではあります。同窓會は主とします、卒業生にはマンドリンが上手な人もあれば、ハーモニカの上手な人もありますから、それ等の人々がより集つて音樂を合奏したり、或は大神樂等を頼みましたりして、盛に面白く遊びます。又模擬店を造りましたり、浦島の龍宮城をつくりま

したりして、すべて卒業生を何十年か前の子供のつもりで迎へます。それから特に卒業生たちに感謝されることは、小さい子供に餘興として遊戯等をさせます。昔を思ひ出して大層なつかしいと申して居ります。この同窓會をいたしました爲か、卒業生からは今年などは年賀状が澤山まゐりまして、私の机の上に山のやうに積み重りました。さうして大學生になつてゐる方や、お母様になつてゐる方が、「先生」と云つて親しんで来てくださりますので、私のやうに時代遅れもいつまでも先生／＼と云つて下さるのをはづかしく思ひますので、「お母様」と呼んで下さいといつも申して居ります。

今迄申し上げた事はほんとに平凡な事でございますが、これがまた私には非常に嬉しかつたのでござります。私には只今十七歳になる娘がござりますが、其の娘よりも幼稚園でお教へした御子さん方が親しいやうに思はれます。まことに幼稚園ほど私が好きな所はございません。私は身體も幸に健全な爲め缺席する事は殆んどありませんでございましたが、今から四五年前病氣にかゝつて五十日ほど病つた事がございました。幼稚園を一日休むのが悲しい爲、身

體に悪いと知りつゝも我慢に我慢を重ねて出席して居りました爲め、卒倒するやうになりましてそれからずつと病の牀に著きました、熱にうかされながらも絶えず幼稚園の子供達と遊んだ夢を見て居りましたのです。御見舞に来て下さる方々がありますと、昨日まで幼稚園に居つたのにと、幾日ながく病氣で居りましても幼稚園に居つたやうな氣がいたして居りました。一體この幼稚園は山の手の家庭の子達の通學する幼稚園とは違ひまして、商家の家庭の児童が多うござりますから、言葉が適當でないかも知れませんが中流下流の児童が集つてゐます。よく學習院や高師の附屬あたりへお子さんを通學させてゐる御家庭から、私共の幼稚園の名を聞きまして是非入園させて欲しい等と頼んで来られる方もありますが、そんな時には私共の幼稚園の性質をお話して、それでもよいならばと申上げて居ります。その代り、幼稚園に来る迄餘りよくなき性質を有して居つた子供等も、此處に来ましてから目に見えてよろしい成績をあげますので、却て良家からの児童よりも私共には興味が多いわけでございます。それですから、母の會を開きまして、お母様と一緒に絶えず幼稚園

で私共がして居ります事を家庭でも行はせるやうに注意して居ります、初めは父兄會といふやうにお父様でもお母様でもどちらでも出席さへして頂ければよいと云ふ事に極めて自由に定めて置いたのであります。お父様は子供の細い點には御注意なすつてゐらつしやることは少いし、又お母様方はこれが日本婦人の特長なのでございませうが、男子方がゐらつしやるごとの前で御遠慮して少しもお話しにならないのです。これでは折角の會も目的を達するこ事が出来ませんから、私共が色々と考へた末に、母の會に致す事に定め、而も全部の児童の家庭から一度期に母の會をしますと、混雜する事が多く、くわしく御話を伺ふ事が出来ませんから、組々で分け、十日もかゝつて致しますと、一人／＼つくり御めにかゝれますから、大層有效に参ります。それから園児には色々の注意書を家庭に持參させて居ります。クリスチヤンの家庭と佛教の家庭では子供の教へ方に差異があるものですから、御宗旨は何ですか、と云ふ問ひを出します。入園前と入園後の行爲はどうですか。幼稚園を好みますか、金錢をつかひますかと、幾種もの問を提出します。殊に金錢を使ふか

どうかは嚴重に調べます。其理由は此の邊ではすぐそとへ出れば駄菓子屋が並んでゐる所で、云ふ風で、子供の監督に大層よろしくない所ですから、よく父兄方が幼稚園にあがつてゐるので、間食する事が少く、腸胃が丈夫になつたなど、感謝されるのであります。今年から新たに、牛乳でお育ちになつたのか、母乳でお育ちになつたのですかと、言ふ質問を加へようと思ひます。これは牛乳と母乳どでは、子供の體質の上に大きな關係がある事であります。

二十四年も幼稚園教育に從事してゐたのですから、賢しい人であればどんなに立派な研究もなさいますことでせう。然し不肖な私は何も立派な研究が出来ませんでございましたが、身體検査に就いてと、幼兒のしつけ方に就いて、少しは調査いたしましてございます。身體検査は小學校に参りませんと充分なる注意を以て行はれてゐませんし、それも一年に一回位行ふだけであります。幼時の身體は發育が烈しいものですから、尙更屢々行はれなければならないと存じまして、毎月一回づゝ行つて居ります。二百五十名の兒童に、毎月かゝさない身體検査を行ふ

といふのは、大した手數でありますけれど、幼稚園は何も德育、智育にばかり重きを置く必要がないので、むしろ體育を最も重大視しなければならぬやうに考へられます。或時、顔の血色も普通で、幼稚園にも毎日缺席せずに通つてゐる子供がありましたが、體重が月毎に減じて行きますので、私共も不思議に思ひ、其の子供の母親にとにかく醫師に診察して貰ふやうに注意を與へました。それから二三日立つて母親が来て云ひますには、「ほんとうに有難うございました、心臓が悪かつたのでござります」といつて非常に喜ばれました。かけつこなんかしたらば、きっと鼓動がはげしかつたでせうが、子供の事とて氣づかずに居つたのでした。このやうに小さな發見でも、それが非常に尊いことでござります。昨年は流行感冒がありまして、兒童の出席が一定して居りませんでしたので、身體検査表も完全なのが出来ませんでしたし、又今年のは只今成作中ですから、一昨年大正八年に調査したものを、一寸御参考までに、申上げます。

體重平均表(四歳) 右は男兒 左は女兒
四月・三・九〇〇 五月・三・九〇〇

三・七二〇

六月……三・九二〇

三・八二〇

九月……四・〇〇〇

三・八四〇

十一月……四・一五〇

三・九八〇

一月……四・二六〇

三・九六〇

三月……四・二六〇

身長平均表(四歳)

四月……三・一八

五月……三・二一

六月……三・二二

三・一六

九月……三・二七

三・二一

十一月……三・三〇

三・二三

一月……三・三四

三・二五

三月……三・三六

三・二七

三・七八〇

七月……三・九一〇

三・七八〇

十月……四・一七〇

三・九五〇

十二月……四・一七〇

三・九四〇

二月……四・二四〇

三・九九〇

體重平均表(五歳)

四月……四・〇二〇

五月……四・一〇〇

六月……四・一五〇

四・二七〇

九月……四・二六〇

四・三〇〇

十一月……四・三〇〇

四・四五〇

一月……四・三四〇

四・四六〇

三月……四・四一〇

四・四五〇

身長平均表(五歳)

四月……三・三三

三・二八

六月……三・三七

三・二三

九月……三・三七

三・三一

十一月……三・三四

三・三〇

一月……三・三四

三・三九

五月……四・一〇〇

四月……四・二六〇

七月……四・一三〇

四月……四・一四〇

十月……四・三一〇

四月……四・三二〇

十一月……四・三二〇

四月……四・三七〇

二月……四・三七〇

四・五〇〇

三月……三・四九

三・四五

體重平均表(六歳)

四月……四・八〇〇

四・二六〇

六月……四・六一〇

四・三七〇

九月……四・五八〇

四・四〇〇

十一月……四・八一〇

四・五七〇

一月……四・八四〇

四・五八〇

三月……四・八八〇

四・六八〇

身長平均表(六歳)

四月……三・四七

三・四五

六月……三・五一

三・四九

九月……三・五五

三・五四

十一月……三・五八

三・五七

一月……三・六一

三・五六

三・六二

五月……四・六五〇

四・三一〇

七月……四・七二〇

四・三六〇

十月……四・六九〇

四・四七〇

十二月……四・八〇〇

四・五八〇

二月……四・八六〇

四・六一〇

又私が研究して發表しました幼兒のしつけ方といふのは、幼稚園で子供に接してゐる間に目につく、百七十項の幼兒の惡癖に就いて述べたものであります。して、入園すると直ぐ家庭へこの小冊子を配布して居ります。

私は年若くて幼稚園へ第一歩を踏み出して以來、從來は自分一個の理想通りの私立幼稚園を設立したいと云ふ希望を絶えず燃やしてまゐりましたが、今はこのやうに立派に設備された幼稚園に置いて下さいまして、自分の思ふが儘に振舞つてゆかれますので、もう私立幼稚園は新しく建てなくとも、私の理想は殆んど完成されたのでござります。たゞ時代遅れになりませんやうに益々修養を積んで、感謝しながら一生此處に可愛い子供達とのどやかな日を送りたいと存じます。